The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	目で見るWHO　第44号　巻末資料等
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2010, 44, p. 32-33
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86798
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

日本WHO協会 第1回 禁煙セミナーのご案内

「たばこ・・職場での対策を考える」

WHOでは、2004年たばこ規制に関するWHO枠組条約に続き、2007年には締約国に対し受動喫煙防止のための政策勧告を出しています。これを受け、我が国でも、今年2月には「多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙であるべき」とする厚労省健康局長通知が出され、5月には「職場における受動喫煙防止対策に関する検討会報告書」がまとめられました。10月からは、たばこ価格の大幅値上げが実施され、今、禁煙への機運も盛り上がりを見せています。このような中、企業としては何をなすべきか。受動喫煙の防止への対応から、更に従業員健康増進のための禁煙奨励、喫煙率引き下げへ、どのように取り組むべきかを悩んでおられる企業も多くあります。

たばこの有害性や禁煙治療等の医学的な面だけでなく、先進的に対策に取り組まれているシャープ（株）様の実例紹介に加えて、参加者からも実情や課題を発言頂き、実務的取り組みへの参考にして頂けるセミナーとなるよう企画致しております。企業の人事や健康管理のご担当者様のご参加をお待ち申し上げております。

日　時：平成22年12月2日（木）14時～16時

場　所：大阪歴史博物館　4階第一研修室　大阪市中央区大手前4－1－32
「大阪市営地下鉄谷町線・中央線、谷町4丁目駅」⑨番出口

講　師：

基調講演　**「我が国のたばこ規制の現状と課題」**
大島　明 氏（大阪府立成人病センター　がん相談支援センター所長）

事例研究　**「社内禁煙の取り組みの事例紹介」**
藤原 裕和 氏（シャープ株式会社　田辺事業所産業医）ほか

参加料：資料代　一般 **1,000円**（会員・招待者は無料）

定　員：60名（定員になり次第締め切ります）

参加ご希望の方はファックス06－6944－1136等でご連絡ください。

第41号（秋号）のあらまし

第二回健康セミナー　「癌の防ぎ方、見つけ方」
松浦　成昭
飲料水と健康
浄水処理の新概念
－WHOの飲料水ガイドラインの遵守を目指して－
落合壽昭・宇山　浩・木内正人
国際保健協力
健康なアフリカ社会をめざす国際シンポジウム報告
水元　芳・中村　安秀
保健と健康
わが国におけるたばこ規制の現状と課題　大島　明

第40号（夏号）のあらまし

第一回 健康セミナー
「ヘルスプロモーションとは、健康で生きぬくために」
高橋　伸治
会員便り
「ヒ素除去技術に関する報道番組に出演して」　宇山　浩
健康の前提は衛生的な水
保健と健康
「我が国における糖尿病の現状と対策」　中石　滋雄
第13回　関西感染症フォーラム
［FInD in Kansai］ご案内
大阪大学大学院医学系研究科
医療経済・経営学（アストラゼネカ）
寄附講座　公開シンポジウムご案内

前号（第43号　初夏号）のあらまし

インフルエンザ対策セミナーの御礼
第５回健康セミナー
うつ病はこころの風邪？　渡辺洋一郎
心と健康
こころの病気について　松浦　玲子
第３回健康セミナー
メタボそしてアディポネクチンとは　下村伊一郎
歯と健康
インプラント用磁性アタッチメントの開発
荒井　一生・前田　芳信
海外医療事情
イラクにおける最近の医療事情
モハメッド・ヌーリ・シャキル

前々号（第42号　新春号）のあらまし

新型インフルエンザ対策セミナーの報告
インフルエンザと健康危機管理
企業と危機管理、そして健康危機管理時代へ　更家　悠介
インフルエンザと健康
豚由来（A/H1N1）新型インフルエンザ対策　朝野　和典
インフルエンザと健康
インフルエンザワクチンの製造と課題　奥野　良信
世界の健康
フィリピンの離島における先住民の子どもたちの
保健衛生習慣　カルヴィン・デ・ロス・レイエス
クラフォード賞受賞記念
関節リウマチとインターロイキン６
－守ってくれる免疫・攻撃する免疫－　平野　俊夫

●社団法人 日本WHO協会 事務局だより

公益法人改革により現在特例法人となっている当協会では、公益法人認定への準備を進めております。実施事業の公益性の確保はもとより、定款や諸規則の見直し整備等に加えて、安定した事業運営を持続的に展開していく財政基盤の充実が求められています。

そのためにも、会員規模を拡大していく必要があり、ご理解ご支援の輪を広げる入会促進活動に注力いたしております。おかげさまで関西電力様はじめ有力著名企業様の法人入会も進みつつありますが、なお一層の会員拡充を図りたく、ご協力をお願い致します。